


山や崖、川や水路には

大雨が降ったら
場所に身を寄せる

地震が起ったら




防災

① すぐに

② 大きな声で

知らない人がついてきたり、連れていかれそうになったら...

誰もが入りやすく、誰からも見えにくい場所には




防犯

飛び出さないためには

道路の手前で

左右の道を

車や自転車が来ていないかを



交通安全

どうすれば安全に登校(生活)できるかな?

3 自分の安全を守る方法を身に付けよう!


地震や大雨が発生したときに、状況が変わりやすい場所

例えば...

- 古びていたり、高さのあるグロッツの側の側
- 古く、手入れがなされていない住宅の側
- 崖の近く
- 河川敷や水路沿い

大雨

地震




防災

誰もが入りやすく、誰からも見えにくい場所

例えば...

- 人通りの少ない道路やトンネル
- 人気のなく、外から見えにくい公園や公衆トイレ
- 落書きやゴミがそのままにされている場所
- 空き家と思われる住宅

誰もが入りやすく、誰からも見えにくい場所



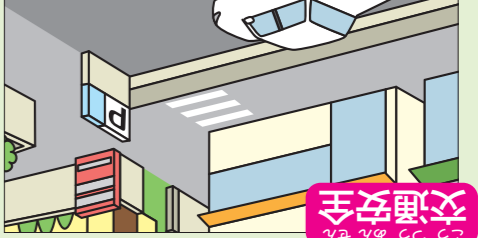
防犯

「飛び出し」が発生しやすい場所

例えば...

- グロッツや自動販売機、草木などがあり、見通しが悪い交差点
- 信号機のない横断歩道
- 歩道がない道路、お店や駐車場沿いの道路
- 車と車の間

「飛び出し」が発生しやすい場所



交通安全

どんな危険があるのかな?

1 校区の危険箇所を知ろう

校区安全マップの使い方

考えてみよう! ~高学年のみなさんへ~


1, 2, 3年生は家の人と一緒に考えてみよう。

次の文章の下線部の内容が正しいものには○、正しくない場合は×を入れて正しく直しましょう。

1	雷は夏に発生し、 <u>春や秋には発生しない。</u>	【 】
2	雷をとまなう大雨の時には、 <u>雷雨を妨げる大きな木の側に避難するとよい。</u>	【 】
3	登下校途中で雷が発生したら、 <u>急いで学校に避難した方がよい。</u>	【 】
4	遠くの方で雷が発生した場合は <u>すぐに安全な場所に避難した方がよい。</u>	【 】
5	雷が鳴っている時に、近くに避難できる場所がない場合は <u>姿勢を低くして耳をふさぐのがよい。</u>	【 】


セーフティボランティアさん

通学路や校門のちかくで、みんなが安全に学校に通えるよう見守ってくれています。緑のベストや腕章が目印だよ。



「こども見守り中」の旗

みんなを見守ってくれている人が、街中にあることを知らせてくれています。たくさんの人に旗を掲示してもらえたら、地域の安全安心にもつながる。



校区安全マップ

高槻市立奥坂小学校

年 組




高槻市はにたん

2

自分だけの安全マップを作ろう!

- 通学路 □ 遊ぶ場所
- △ 危険箇所 (交通安全・防犯・防災の観点)
- ★ セーフティボランティアさんのいるところ

自分の通る道を
なぞってみよう!



高槻市 はにたん



奥坂小学校



1 交通安全

横断歩道がないため、渡る際は注意が必要。坂道の両脇の溝の幅が広く、ふたがないため注意が必要。

2 交通安全

自転車、バイクがスピードを出して走っていることが多く、注意が必要。

3 交通安全

歩道幅がせまく、バスも通る。雨の日など特に注意が必要。

4 交通安全

日吉台へ続くバス道。上りも下りも、車や自転車の交通量が多く、横断に注意が必要。

5 防犯

不老水井戸のふた。落下の可能性があるので、危険。見えにくく入りやすい場所でもあるため、注意が必要。

6 交通安全

四叉路になっており、見通しも悪く道路もせまい。車やバイクの抜け道になっている。

7 交通安全

曲がってくる車が多く、自転車もたくさん通るので注意。

8 交通安全

車やバイクの交通量が多く、横断歩道には信号もない。横断する際は注意が必要。

9 交通安全

歩道を走行する自転車が、多く、パーキングの車の出入りも多いため注意が必要。

10 防犯

日が落ちると暗い。周囲からの見通しが悪い。子どもだけでは通らないこと。

水路や池には立ち入らない!
川に行くときは大人と一緒に
行こうね

